

マレーシア便り (第4回)

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

みなさん、こんにちは。1学期が終わり、夏休みに入りましたね。しかし、すぐに補習が始まり、ご多忙と思います。暑さも増し、熱中症など体調には十分にご注意ください。また、HP もリニューアルされ、この報告をアップして下さりありがとうございます。

さて、マレーシアでは、6月30日からラマダンが始まり、7月27日まで続きます。ラマダンはご存知の方は多いと思いますが、イスラム教徒（ムスリム）が断食を行う月のことです。イスラム教は太陰暦なので、この期間は日没から日の出（クアラルンプールでは19:30~5:30で地域によって決まっている）までの間に一日分の食事を摂ることになります。断食は「食の喜び」「満身に食べることができない人の苦しみ」を知るという意味があるそうです。しかし、ムスリムにとって、辛いだけのことではないみたいです。ラマダンのときは早朝に起床し、通常より早く帰宅します。夕食もなるべく家族と共にし、家族との時間を有意義に過ごすことができる月だそうです。だから、楽しいと言う人もいます。

さて、学生はというと。午前中は元気ですが、昼を過ぎると想像通り元気が無くなってきます。17:00頃は本当に元気が無いです。それでも、私たち教師の質問に元気よく答えようとする姿勢に胸を打たれます。年上を敬うという姿勢から出てくるのでしょう。よく気もつかってくれます。

そして、金銭面のことですが、ラマダン中でも19:30になると食事することができます。ラマダン中は家で料理はしないみたいで、夕食は外食か、外で買ってきたものを自宅で食べるみたいです。断食によって、食事にあまりお金を使わないような感じがしますが、実際はラマダン中の方が食事に多くのお金が必要みたいです。

<津名高生へ>

さて、マレーシアですが、とてもいいところです。だから、ぜひマレーシアへなんてことは言いませんが、せっかくなので、マレーシアの学生の現実を少しずつ書きます。

マレーシアは大学を志すほとんどの学生は奨学金で大学まで行くことができます。適当に大学行こうかという人はほとんどいないと思います。そして、選ぶ大学にも日本とは大きな違いがあります。マレーシアでは留学が選択肢の中に当然のようにあります。憧れの国で学んでみたい。または、日本で例えると、医学部医学科に行きたい。でも、難しいから行くことができない。そしたら、医学部医学科が難しい外国の大学に行くというものです。どこの国でも難しい学部は同じとは限りません。そうすれば、行きたい学科に行くことができ、且つ、もしかしたら自国の大学よりもレベルの高いことを学ぶことができるかもしれないということです。私はその中の日本留学を目指している学生を教えています。だからといって、日本人ももっと留学を・・・とは一概には言えません。日本は留学しなくても日本で学んで十分に生きていくことができます。それは日本の良い点でもあると思います。考え方は様々ですので、一度考えてみてください。そして、このような環境であることに感謝すべきだと思います。

【2014年7月8日（火）The Japanese School of Kuala Lumpur (JSKL) との交流会】

AAJ（日本留学を目指すためのコース）の生徒74名はThe Japanese School of Kuala Lumpurの小学6年生の児童と交流をしました。年齢の差を感じさせないくらい、小学生はとてもしっかりして、とても驚きました。また、AAJの生徒は小学生に負けないように日本語を一生懸命話していました。交流内容は日本の遊びやマレーシアの遊びを全員で、またはグループに分かれて行いました。



【私事】2014年8月10日（日）念願だったトライアスロンの大会に出場します。

スイム 1.5 km、バイク 40 km、ラン 10 km のオリンピック・ディスタンスに出場します。昨年やっと 50 m 泳げるようになりましたので、頑張ります。